広報五城目
発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課
（電話・五城目501番）
定価 1部 5円 印刷所 能代市・小沢印刷所

# ことしの町政メモから

## 年末年始は簡素で明るく

一年のけじめをつけるこの機会に、もういちどお互いの生活をみつめて、家庭・職場・団体などで、よく話し合い、つぎのことを実践いたしましょう。

○家族みんなで語り合える年末年始。

○贈答や形式的なあいさつまわりはやめよう。

○クリスマスツリー、門松は自しゅく。

○年のはじめに生活設計をたてよう。

## 納税のこみゃ

12月は
町民税
国民健康保険税 第4期の納期です。

お忘れなく納期限内に納めましょう。

今月で町税全部の納期が終りました。未納がないかどうかもう一度たしかめて下さい。

## へき地解消おしすすむ

1962年も余すところ数日に迫った。社会福祉事業の一環として、へき地保育所、杉沢出張診療所の開設、農業面では水稲直播栽培、農業構造改善の検討、また郷土の若人はやはげます事外年少就職者の激励会開催など、五城目町発展の基礎づくりは着々と進められた。以下ことしの歩みをふりかえってみよう。

### 民生

**杉沢へき地に出張診療所新築**

五城目駅から、十四キロメートル余りもある山間、この地域にすまいする住民にとって、最も心配されていることは病人がでることであるというこの医療施設の問題は厚生省の認可かまり、議会で議決されて、さる十一月十六日に完成された。

建物は木造平家建二五坪、亜鉛引鉄板六ツ切平葺き、外壁モルタル塗刷毛引きのモダンな診療所、中でもレントゲン機械は最新式の立派もの。

なお診療は親元病院である湖東病院の医師があたるが、開所を周近かにひかえ、地域住民の不安は一掃されることになる。

**児童福祉法に立脚して保育施設ふえる**

「すべて国民は、児童が心身ともにすこやかに生まれ、かつ育成されるよう努めなければならない。すべて児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない」これは児童福祉法の基本理念である。

町ではできるだけこの欠けているところをおぎなおうと、今年の六月、馬場目（蓬内台）と内川（浅見内）の二ヵ所に保育施設を開設した。

日々に伸び行く幼児の共同生活は両親を安心させほほえましい風景をみせている。

**住民の福祉をになう新民生委員きまる**

さる十日、五城目役場第一会議室で、十二月一日付をもって厚生省から委嘱された五城目地区民生委員四十六名に対し北嶋町長からそれぞれ辞令が伝達された。

民生委員の職務は

1 常に調査を行ない、生活状態を審かにしておくこと。

2 保護を要する者を適切に保護指導をすること。

3 社会福祉事業施設と密接に連絡をとり、その機能を助けること。

など、地域住民のしあわせをになう重要なことばかりである。生活上の心配ごとについては気軽るに地域の民生委員の方に申出して下さい。

（新民生委員二頁へ掲載）

### 教育

一、四月一日 五城目中央公民館長任命八柳幡一氏。

一、七月十日 五城目第一中学校増築校舎竣工式挙行。工費九百万円能代市中田建設施工

一、七月十一、十二日 全国中学校学力調査実施。

一、八月二十日 内川中水道通水竣工式。

一、九月十一日 大川小、中学校給食竣工式挙行。

全教科教育研究指定校として公開研究会を開催する。

一、十一月十九日 新しく教育委員として伊藤一、畑沢実氏を任命発令。

一、十二月一日 例年により杉沢小学校は北ノ又分校の開校式し、分校で挙行した。

○五城目町農協合併研究会設立 1 19

### 経済

○家畜市場 春期、夏期 4 20 秋期と三回にわたり開いたが、出された家畜 夏期は四百頭近く、総販売 7 8 頭は一三、〇六八千円 秋期 10 30 にも及び盛況を呈した

○水稲直播栽培播種実演会 5 9

○第3回秋田県家畜共進会 5 29 東京見本市、東京都産業会館。

○秋田県物産と観光展 大川沢小学校 7 21

○社幌市（第七回）観路市（7 18）を派遣（埼玉県武蔵町）～

○共同化グループ実習生 8 10 大川共同養豚組合長浅野慶一郎氏。

○果樹農業振興座談会 8 2 （高崎部落）

○第14回秋田県商工祭 8 11 大館市

○夏期農民講座 8 27

○農業日本一に出品 9 10

### 消防

一、昭和三十七年度消防出初式。

昭和三十七年一月六日、五城目小学校講堂において消防職員二十名、消防団員三三六名の精鋭により盛大かつ厳粛に挙行する。

一、消防団葬

二月二十日五城目町珠敬院で故原田鉱一氏の消防団葬を行なう。

一、春の無火災県民運動強調週間四月十一日より十七日まで一週間計画に基きそれぞれの行事を行なう。

一、可搬動力ポンプ配置

六月四日富津内高倉に可搬動力ポンプの更新配置を行なう

一、訓練講習会

七月二十六日湖東分会主催の消防規律訓練並びにポンプ操法講習会を県消防課より講師を招いて五城目小学校校庭で実施する。

一、消防訓練大会

八月十八日五城目町消防訓練大会を五城目小学校校庭で全団員三三六名により実施する

一、秋の無火災県民運動強調週間十一月四日より十一月十日まで一週間計画に基きそれぞれ行事を行う。

一、機動駆付訓練大会

十一月九日本町で湖東分会主催機動駆付訓練大会を実施し行ない、直ちに配水ポンプ七台三輪ポンプ車一台手引動力ポンプ三台人員約二〇〇名参加し、訓練終了後一斉放水市内パレードをも行なう。

一、防火水そう新設

野田部落及び浦磯町部落に新設中の昭和三十七年度補助事業である防火水そう十一月十九日完工。

### 水道

**全県水道講習会**

本町を会場として開かれた全県水道講習会は、本年特に多かった維持管理面の事故発生によって社会的問題としてよばれたことにかんがみ、日本水道協会秋田県支部が計画したものでこれらの事態は事経営上に最も重要なことであり、関係機関の腐心とするものであった。

ただ出席者は九七名に達し熱の入った講習会であった。

**上水道第一次工事完成**

継続事業の最終工事である配水池築造工事は予定どおり竣功し、七月二十七日関係多数列席の上、配水池現場で竣功式を行ない、直ちに配水ポンプ給水を開始した。したがってこれまでのポンプ直送という例外措置は解消されたわけである。

この配水池は、七二〇立方米

### 議会

**町議会一年の動き**

**審議した議案など一六二件**

本町の議会は、この地域にすまいする住民にとって、最も心配されていることは病人がでることであるというこの医療施設の問題は厚生省の認可かまり、議会で議決されて、さる十一月十六日に完成された。

建物は木造平家建二五坪、亜鉛引鉄板六ツ切平葺き、外壁モルタル塗刷毛引きのモダンな診療所、中でもレントゲン機械は最新式の立派もの。

なお診療は親元病院である湖東病院の医師があたるが、開所を周近かにひかえ、地域住民の不安は一掃されることになる。

**児童福祉法に立脚して保育施設ふえる**

「すべて国民は、児童が心身ともにすこやかに生まれ、かつ育成されるよう努めなければならない。すべて児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない」これは児童福祉法の基本理念である。

町ではできるだけこの欠けているところをおぎなおうと、今年の六月、馬場目（蓬内台）と内川（浅見内）の二ヵ所に保育施設を開設した。

日々に伸び行く幼児の共同生活は両親を安心させほほえましい風景をみせている。

**住民の福祉をになう新民生委員きまる**

さる十日、五城目役場第一会議室で、十二月一日付をもって厚生省から委嘱された五城目地区民生委員四十六名に対し北嶋町長からそれぞれ辞令が伝達された。

民生委員の職務は

1 常に調査を行ない、生活状態を審かにしておくこと。

2 保護を要する者を適切に保護指導をすること。

3 社会福祉事業施設と密接に連絡をとり、その機能を助けること。

など、地域住民のしあわせをになう重要なことばかりである。生活上の心配ごとについては気軽るに地域の民生委員の方に申出して下さい。

（新民生委員二頁へ掲載）

### 教育

一、四月一日 五城目中央公民館長任命八柳幡一氏。

一、七月十日 五城目第一中学校増築校舎竣工式挙行。工費九百万円能代市中田建設施工

一、七月十一、十二日 全国中学校学力調査実施。

一、八月二十日 内川中水道通水竣工式。

一、九月十一日 大川小、中学校給食竣工式挙行。

全教科教育研究指定校として公開研究会を開催する。

一、十一月十九日 新しく教育委員として伊藤一、畑沢実氏を任命発令。

一、十二月一日 例年により杉沢小学校は北ノ又分校の開校式し、分校で挙行した。

○五城目町農協合併研究会設立 1 19

### 経済

○家畜市場 春期、夏期 4 20 秋期と三回にわたり開いたが、出された家畜 夏期は四百頭近く、総販売 7 8 頭は一三、〇六八千円 秋期 10 30 にも及び盛況を呈した

○水稲直播栽培播種実演会 5 9

○第3回秋田県家畜共進会 5 29 東京見本市、東京都産業会館。

○秋田県物産と観光展 大川沢小学校 7 21

○社幌市（第七回）観路市（7 18）を派遣（埼玉県武蔵町）～

○共同化グループ実習生 8 10 大川共同養豚組合長浅野慶一郎氏。

○果樹農業振興座談会 8 2 （高崎部落）

○第14回秋田県商工祭 8 11 大館市

○夏期農民講座 8 27

○農業日本一に出品 9 10

### 最新のごみ処理車を購入

（ごみ処理車に活躍するじん芥収集圧縮車）

町ではこのたび、現在のごみ処理をさらに能率的にするため最新のじん芥収集圧縮車を一五三万で購入し、十二月十一日から使用している。

いままでは普通の小型車がふたっていたが、今後ごみ処理専用車の購入によって相当の手数がはぶけることになる。

### 消防

○村青年先進地現地研 9 11

○秋田農業試験場、秋田畜産試験場、秋田栽培、家畜の育成等について研修。

○農業構造改善事業先進地視察、千葉県成田市 9 25

○第7回米多収穫作会 9 27

○演物種現地組立十周年記念 帯広市 10 13

○第7回五城目町産業祭 10 22 ～11 11 6 3

本間金之助外二名。

### 土木

**37年度土木工事一覧表**

昭37 12 17日現在

| 工事名 | 個所 | 工種 | 工事費 | 竣工の末竣工の別 |
|---|---|---|---|---|
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 保道路改良工事 | | | |
| 保道路改良工事 | 久保口 | 道改 | 291,000円 | 竣功 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 久保口 | 〃 | 195,000 | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 湯の口 | 〃 | 350,000 | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 又口 | 〃 | 294,000 | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 樋口 | 〃 | 63,000 | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 崎口 | 〃 | | 未着工 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 崎手 | コンクリート架橋 | 149,000 | 竣功 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 木 | 橋補修 | 137,000 | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 石 | 〃 | 372,000 | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 敷 | 〃 | 410,000 | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 庭田 | コンクリート架橋 | 158,000 | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 庭 | 〃 | 106,000 | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 丁 | コンクリート | 28,000 | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 阪 | 橋補修 | 153,000 | 竣工 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 阪 | 橋修 | 34,000 | 竣功 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 野 | 〃 | 46,000 | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 野又 | 橋補強 | | 未着工 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 野 | 橋補強 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 又 | 橋上部補修 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 樋田 | 橋脚コンクリート上部本橋 | | |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 橋 | 架替 | 1,423,000 | 工事中 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 崎手 | 橋 | 248,000 | 未竣工 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 木 | 橋補修 | 113,000 | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 石 | 〃 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 敷 | 〃 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 庭 | 〃 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 庭田 | 〃 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 丁 | 〃 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 阪 | 橋補強 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 阪 | 橋修 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 野 | 〃 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 野又 | 橋補強 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 野 | 橋補強 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 又 | 橋上部補修 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 樋田 | 橋架替 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 崎手 | 橋架替 | | 〃 |
| 久北富小北樋馬川大中屋野寺新阪阪岩湯高谷 | 木 | 橋補修 |

# 晴れの門出を祝う

## 38年「成人式」開催要項きまる

### ―式典、講演、芸能等て―

中央公民館では来年一月十五日（火）「成人の日」に行なう成人式の開催について、過日「成人代表者協議会」と「中央公民館運営審議委員会」を開いて成年に達した本町若人の前途に祝福と激励するのにふさわしい式典となるよう、いまその準備を進めています。なお開催要項の概略は次の通りです。

**成人式開催要項**

**一、趣旨**　昭和三十八年一月十五日（火）をもって、成年に達する五城目町若人の希望に輝く明るい社会の形成に精進されることを期待して開催する。

**二、該当者**　昭和十七年一月十六日より、十八年一月十五日までに生れた人

**三、名称**　昭和三十八年　五城目町　成人式

**四、主催**　五城目町、同教育委員会、同中央公民館

**五、日時**　昭和三十八年一月十五日（火）午前十時半開式、午後三時半一切終了

**六、会場**　五城目第一中学校

**七、導入**

1 式場、控室、放送施設等の準備仕上げ完了、前八時半

2 受付、前八時半～前九時半

3 式典の順序、要領の説明（成人へのみ）前九時四十分

4 成人整列　前九時五十分

5 来賓、保護者、主催者側等に町の発展と現代産業人としての役割と責任を自覚し自覚した成人は友人などを誘い合って出席していただきたい。

3 前に述べた該当者であって通知の届かない方もあると思うが、それは前に町外へ居住したことのあるためがほとんどで帰町しても「住民登録」していないからで、そうした方は役場住民課へ行って「住民登録」をすませたのち、中央公民館（電話四一四番）へ連絡して下さい。

4 昼食は主催者側で準備しますが上履物は出来るだけ各自ご持参下さい。

5 当日各路線のバス（五城目駅着八時前後）を一台増発する予定でおります。

6 成人、保護者、来賓の出席者は、一月五日（土）まで中央公民館へお申込み下さい。

7 成人式についてのくわしい問い合せは、中央公民館の電話四一四番へ。

**みんなで防犯!!**
**年末年始は**
**あかるく、楽しく**

**①修礼**
**②開式のことば**
**③国歌斉唱**
**④式辞**
**⑤成人証書並びに記念品授与**
**⑥町長祝辞**
**⑦来賓激励のことば**
**⑧成人「誓いのことば」**
**⑨町民の歌、青年の歌斉唱**
**⑩万才三唱**
**⑪閉式のことば**
**⑫修礼**

**九、昼食**　休けい　十二時～十二時十分

**十、記念行事**　十二時四十分～三時半

1 「成人の主張」成人の希望者によって　後一時十分

2 記念講演（講師交渉中）　後二時半

3 芸能発表　後三時半

①第一中（ブラスバンド）
②五城目青年会（合唱）
③五　高（ブラスバンド）

**十一、その他**

1 服装はつとめて質素（ふだん着で結構）にして出席していただきたい。

## 昭和三十八年
## ―成人の主張実施要項―

**一、主旨**　成人として何を望み何を考えているか、「成人式」を機会に広く世に訴えようとしている。

**二、課題**　自由
○現代青年の果す役割
○成人の果す権利と義務

右のような テーマなどで文章をまとめる事も一つの方法かと思います。

**三、時間**　一人五分以内とします。原稿用紙六～七枚位になると思います。

**四、申込み**　出場希望者は近日中に配布する申込み用紙にご記入の上、昭和三十八年一月五日（土）正午までに中央公民館あて申込んでください。（五城目町下タ町四十三ノ一）

**五、応募資格**　昭和三十八年「成人該当者」

## 昭和三十八年
## ―成人感想文募集要項―

**一、主旨**　成人に達して、あらたな喜びと自覚はもとより自己と社会に対する大きな未来像に向って邁進されるものとおもわれますが、その斬新な夢を「成人」のつどいを機会に広く世に訴えようとするものである。

**二、課題**　「成年に達して」の感想文

**三、応募資格**　昭和三十八年「成人該当者」

**四、字数**　四百字詰原稿用紙で五枚以内（二千字以内）

**五、締切日**　昭和三十七年十二月二十五日

**六、あて先**　五城目町下タ町四十三の一五城目町中央公民館

## 五城目町中央公民館の昭和37年中における主な行事

1.15　昭和３７年五城目町成人式開催
　該当成人数４３６名
2.21　洋服の型取り講習会開催
　２４日まで４日間地区別実施
6.17　公明選挙推進協議会開催
　婦人会対照に参議院議員選挙の投票総参加、買収供応追放運動
6.20　公明選挙推進座談会、８ヶ所で実施
6.28　町民慰安並びに公明選挙推進映写会開催、９ヶ所で実施、９日間
7.7　岩野山古墳群発掘、７日８日の２日
7.9　雀館古井戸発掘
　発掘者秋田県文化財専門委員豊島昂氏
7.7　全町体育祭、マスゲーム講習会開催、婦人会若妻会青年会員受講約百名
11.13　第１１回全国青年体育文化祭参加選手壮行会開催
　五城目青年会合唱サークル２２名出場
11.21　五城目町中央学級開講式
　婦人学級３４名、若妻学級６５名、青年学級２０名、各学級別に毎月１日開講
12.16　新町建設の集い開催
　新生活運動の自主性と推進をはかる

○五城目町行事
9.2　第３回五城目町体育祭開催
　参加町民およそ７千名をかぞえ盛会裡に終了した。

○五城目町体育指導委員会及び体育協会行事
2.18　全町スキー大会開催
　会場森山スロープにて参加者生徒７０名、一般３０名
4.28　観桜会記念駅伝及び相撲大会開催、駅伝参加５チーム、相撲団体６チーム
8.4　馬場目岳登山会開催
　参加者４５名（２日間）
9.22　全町野球大会開催
　参加１４チーム、２２日２３日３０日の３日間にわたる。
11.3　秋田県森山登山競技会開催
　参加者中学生８５名、一般団体５チーム、個人５名
11.11　第５回全町卓球大会
　参加は中学校、職場、町内別に団体戦を、個人戦は年令別に行ない総参加者百数名

○公明選挙推進協議会行事
6.6　公明選挙推進町民集会開催
　買収供応追放、投票総参加を推進する。
11.17　公明選挙推進街頭弁論大会並びに座談会開催
　弁士７名、市場を中心に実施

## お互いに人権尊重を

基本的人権とは、われわれが人として生まれながらにして持つ権利のことであり、具体的には憲法第十四条以下第四十条にわたって侵すことのできない永久の権利として与えられています。従って基本的人権はわれわれ自身のものであり、われわれ自身が不断の努力によって保持しなければならないのでありますが、残念なことに、格別形式的ではあるとはいえない現状にあります。

そこで人権尊重の考えを普及高揚し、基本的人権が侵されないよう監視し、もし侵された場合は救済のために適切な処置をとる機関として、秋田地方法務局に人権擁護課が、またこの任務をさらに強力に推進するために人権擁護委員の制度が設けられております。この機関がこれまでに取扱った人権侵犯事件には、

⊙公務員がその職権の範囲を超えて人権を侵害したもの。⊙私人間の人権侵犯事件には、公害事件（騒音）煤煙等による侵害事件、法を無視した私的制裁事件、年少者・老人等への酷使虐待事件など、数多くの事件がありました。他人の人権を尊重しつつ、自身の人権を守るためにも人権が侵されるようなことがありましたら、相談料はもちろんのこと、まだまだこの制度をも必要といたしませんから、秋田地方法務局人権擁護課又は皆様方のおられる町に法務大臣から委嘱されている次の人権擁護委員に申出下さい。

阿部　友次郎（富津内）
鈴木　猪作（面潟）
佐藤勝太郎（五城目）
斎藤　周作（馬場目）
小熊仁三郎（大　川）

（秋田地方法務局）

## 新年名刺交換会開催のおしらせ

恒例による新年名刺交換会を次のとおり開催しますから町民各位多数のご参加を望みます。

記

1. 日時　昭和３８年１月１日　午前１０時
2. 会場　五城目町役場第一会議室
3. 会費　１人　１５０円
4. 会の内容
　①午前１０時開会　②国歌斉唱
　③年頭の挨拶　④祝いの謡
　⑤余興　⑥祝宴　⑦万才三唱
　散会
5. 参加申込み
　１２月３０日までに会費１５０円を添えて申込み下さい。
　申込先は
　⊙五城目町役場総務課（電話５０１）
　⊙五城目町中央公民館（電話４１４）
　⊙大川出張所　（電話一日市２４）

## 新民生委員（順序不同）

安東　晃子　川原町
伊沢　正信　古川町
山口　今治　古川町
二倉　造　紀久宋町
員田　鉄三郎　長町
大村　仙福　仲町
荒　要五郎　畑町
池田　啓子　雀館
猿田　キミ　上樋口下
千田　運蔵　岡本
佐川　善之助　野田
近藤　裕司　浦横町
八柳　正二　大川
伊藤　六之助　〃
佐藤　トモエ　〃
熊久　孝　西野
佐藤　チヨエ　谷地中
斎藤　貞治　町村
草皆　準一郎　帝釈寺
佐々木　千代吉　蓬内台
石井　鉄之助　寺庭
斎藤　カツエ　中村
仲三郎　平ノ下
川島　タツ　水沢
佐々木　重太郎　恋地
石川　三五郎　杉沢
金沢　重蔵　合地
阿部　孝一　富田地
大石　喜七郎　下山内
長之助　上山内
田中　与四郎　乙市
畠山　市合
伊藤　三太郎　落合
小玉　テ　高田
小玉　勇蔵　北
沢田　石広治　湯ノ久
畑沢　喜代治　湯ノ又
畑沢　栄治　湯ノ又
小玉　甚一郎　湯ノ又
松橋　正之助　浅見内
松橋　徳之助　浅見内
松橋　千代枝　浅見内
工藤　与一郎　〃
石井　良司　黒土
佐藤　孫一　小倉
以上四十六名

## 年末年始の休みについて

お知らせ

役場関係の事務を次の期間でご了承下さいで。

〇年末　二十八日午後～二十一日
〇年始　一日～三日

特にお急ぎの用件は日直者にお申し出下さい。